

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 松川町行政評価委員会
- 2 開催日時 令和2年12月10日(木) 午後7時から午後9時まで
- 3 開催場所 中央公民館えみりあ 2階 えみりあホール
- 4 出席者氏名  
松川町行政評価委員会委員  
小川光兵委員、小澤文人委員、川合征人委員、高坂龍夫委員、篠田阿依委員、  
清水祐一委員、竹村暢子委員、原節子委員、松尾雅子委員、松下忠寛委員、  
松下敏章委員、吉澤良子委員、中村美幸委員  
  
役場まちづくり政策課(事務局)  
小木曾雅彦課長、新井直彦係長、中沢一貴主任
- 5 議題(公開又は非公開の別)
  - (1) 第5次松川町総合計画【改訂版】の概要
  - (2) 行政評価の目的と方針
- 6 非公開の理由(会議を非公開とした場合) ー
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称
  - (1) 次第
  - (2) 松川町行政評価委員会委員名簿
  - (3) 松川町行政評価実施規則
  - (4) 松川町行政評価委員会に関する要綱
  - (5) 第5次松川町総合計画【改訂版】概要版
  - (6) 第5次松川町総合計画【改訂版】冊子
  - (7) 第5次松川町総合計画【改訂版】の概要(資料1)
  - (8) 行政評価の目的と方針(資料2)
- 9 審議の概要

(1) 正副会長の選出

松川町行政評価委員会に関する要綱の第5条に基づき互選により選出

会 長 小川光兵委員

副会長 原節子委員

(2) 協議事項（司会 小川光兵会長）

ア 第5次松川町総合計画【改訂版】の概要

《会議資料(7)について、事務局から説明》

《質 疑》

なし

イ 行政評価の目的と方針

《会議資料(8)について、事務局から説明》

《質 疑》

（委 員）

行政評価委員会では、町役場で評価した行政評価に対して委員が意見を述べるという  
ことで従来のやり方と変わりはないか。

（事務局）

お見込のとおり。行政評価委員会では、町役場で実施した行政評価に対して客観性  
を確保するため、委員の皆様からの御意見を聴取させていただく。

（委 員）

どれくらいの頻度で行政評価委員会を開催するのか。

（事務局）

年1回開催する予定。

（委 員）

目標指標の設定件数54件は少ないのではないかと。また、施策により指標の設定数に  
ばらつきがあり、目標指標が評価に繋がるか危惧される。

（事務局）

総合計画を網羅的な計画から重点的な計画に変更したため、前回の計画の目標指標  
の設定件数より減少している。目標指標もできるだけ効果・成果を図る指標にする  
ということで、見直しを行った。

行政評価は、目標指標だけでなく、基本施策等の効果や成果を含めて施策の評価を  
すると考えている。

ウ 全体を通しての意見

（委員長）

全体を踏まえて、委員の皆様から御意見をいただきたい。

(委員)

地域の実情は各地区で異なり差がある。その中で松川町全体の事業として統一的に評価するのは困難だと考える。

(委員長)

地区での差は、具体的にどのようなところか。

(委員)

例えば持続可能な自治組織づくりでは、一般的に自治会組織運営は難しいと言われているが、運営が既に限界にきている自治会もある。また、男女共同参画の推進では、女性を出したくてもいないといった実情を抱える地域もある。

(委員)

総合計画がバックキャスティング、未来から考えて取り組んでいくというSDGsの考え方を取り入れたのはとても良い。行政評価委員会も評価の数値だけにとらわれず、委員が地域の代表として意見を述べる場になればと思う。

(委員)

地区、地域ごとの評価も大切だと思うが、松川町全体を見たときに様々な団体や地区が少しずつ歩み寄り、町全体のことを考えていけるような優しい町になると良いと思う。このような視点からも評価の意見を述べたい。

(委員長)

行政評価委員会は、総合計画の施策に基づいて行う場であるが、計画では位置づけられていない施策等についても、意見交換ができる場になればと考える。